

平成28年度 小坪小学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針「豊かな心」達成目標

○学校教育目標を実現するために、人・もの・こととの出会いを大切にし、活力と魅力にあふれた学校作りを目指します。

・一人ひとりの子どもが、安心して豊かに学校生活を送れるように、健やかな体と心を育む場を大切にします。

児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

本校の児童は、めあてに向かって団結し、意欲をもち、最後までやり遂げることができる。友達や家族との約束を守ろうという規範意識もある。

気持ちは優しく、友達の良さに気づくことはできるが、自分に自信がもてないため、自己肯定感が低い児童が多い。

また、自分から発信したり、行動したりする力が弱く、自分から挨拶をできる児童が少ない。そのため、コミュニケーション力の低さも課題である。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

・自尊感情・自己肯定感を高めるために、学級活動を中心に体験的な活動の充実を図る。

・コミュニケーション能力、自主的・実践的な力を高めるために、子どもの社会的スキルの育成を行う。

1 指針2「体験活動」の充実

☆望ましい集団活動を通して、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築いていこうとする自主的・実践的態度が育ち、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を伸ばすことができますようにします。【視点3】

○「話し合い活動」の充実

教師の支援のもと、子どもたちがよりよい生活を築くための「話し合い活動」を自主的に行うことができるように、活動の時間や場を適切に設定するとともに、話し合いの進め方や役割分担の仕方、見通しをもった計画の立て方などの指導を積み重ねる。

○「家庭・地域との協力関係」の構築

家庭生活におけるルールや約束を作ったり守ったりする体験や、家庭での役割や仕事を分担して取り組む体験を通して、達成感や自己有用感などを味わうことができるように、保護者に呼びかける。また、地域のかたとの斜めの関係を増やすことで、視野を広げ、よりよい人間関係を築けるようにする。

2 指針3 確かな人権感覚・意識の育成

☆子どもの社会的スキル横浜プログラムを、授業の中で実施することを通して、子どもの自尊感情の醸成、コミュニケーション能力、意志決定や問題解決能力などの向上が図られるとともに、だれもが安心して豊かに過ごすことができる学級・学校の風土を醸成するようにします。【視点7】

・子どもの社会的スキル横浜プログラムの実施により、意図的計画的に子どもの社会的スキルの系統的な育成を図る。

・Y-P アセスメントシートの支援検討会による教師の人権感覚・意識の育成を図る。学級課題の改善や子ども個人の課題の改善に向けて校内の指導体制を整え、教師集団が「だれもが安心して豊かに」過ごすことができる学級風土づくりへ向けた協働ができるようにする。